



Fiorano SOA プラットフォームのインストールと 評価用ライセンスの適用

対象バージョン: 2007 SP7 および 9.0.0

はじめに

このガイドブックは、Fiorano SOA プラットフォームのインストール方法について説明するものです。

このガイド ブックの他に、以下のガイド ブックも用意されています。併せてご参照ください。

- Fiorano SOA プラットフォームのダウンロード (製品インストーラと評価用ライセンスの取得方法)
- Fiorano SOA プラットフォームの起動方法
- Fiorano SOA プラットフォームのアーキテクチャ概要
- Fiorano オーケストレータによるビジネス プロセス構築の概要

目次

1. インストール	3
1.1 インストールされる製品コンポーネント	3
1.2 システム要件	4
1.3 インストール手順	6
2 インストール完了後のフォルダー内容	11
3 ライセンス ファイルのインストール	13
3.1 ライセンス ファイル (fiorano-soaX.lic) の⊐ピー	
3.2 ライセンスの確認方法	
4 Fiorano SOA プラットフォームのアンインストール	
4.1. インストーラ Wizard によるアンインストール	
4.2. Windows の [スタート] メニューから実行	
4.3. スクリプト ファイルの実行による方法	

1. インストール

1.1 インストールされる製品コンポーネント

ダウンロードしたインストーラは、Fiorano SOA プラットフォームの全コンポーネントをインストールします。 Fiorano SOA プラットフォームに含まれる主要なコンポーネントには、次のものがあります。

- ◆ サーバー
 - ESB Server (ESB サーバー)
 - ESB Peer (ピア サーバー)
- ◆ ツール
 - Fiorano Studio (サーバーのコンフィグ、ビジネス プロセスの構築と実行)
 - Web Console (ブラウザー ベースのダッシュボード形式の監視ツール)
 - Service and Security Manager (セキュリティの設定と新規サービス コンポーネントの追加)
 - Event Manager (実行中のビジネス プロセスのログ情報、データ内容、サービスのステータスなどの閲覧)
 - Deployment Manager (ビジネス プロセスのデプロイメント ルールの設定ツール)
 - Network Administration Tool (ネットワークの管理)
 - License Manager (ライセンスの管理)
 - Fiorano Mapper (XSLT を利用したデータ スキーマ間のマッピング ツール)
- ♦ リポジトリ
 - プリビルト サービス コンポーネント
 - サンプル ビジネス プロセス

通常のインストールでは、上記以外に次のものもインストールされます。

- Sun JRE 1.5.0
- 製品デモ (Flash による自動デモ)
- 各種の補完ソフトウェア (DBMS や XML 処理用のオープン ソース ソフトウェアなどで、ビジネス プロセス構築 やプロトタイピング、シミュレーションに利用できます。)

Fiorano SOA プラットフォームでは、複数の ピア サーバーをネットワーク上に分散させて配置するなど、各サーバーを分散 させた環境を構築できます。

製品評価においては、Fiorano サーバー (ESB サーバーおよびピア サーバー) のそれぞれ 1 個を単一のハードウェア (マシン) 上で稼動させることをお薦めします。本書で説明している通常のインストール方法に従えば、インストーラを実行する マシン上に ESB サーバーおよびピア サーバーがインストールされます。また、必要なサーバー コンフィグレーションも自動 的に設定されます。



1.2 システム要件

Fiorano SOA プラットフォームのサーバーは、JRE 1.5 以降がサポートされているプラットフォーム (OS) であれば稼動する ことができます。代表的なプラットフォームには以下のものがあります。

Widows

WindowsNT Server / XP Professional / Vista

Unix / Linux

Red Hat Linux	Sun Solaris
HP-UX	IBM AIX
Tru 64 UNIX	その他の Unix および Linux システム
その他のプラットフォーム	
Apple Macintosh	IBM AS 400

次の表は、Fiorano サーバー (ESB サーバーおよびピア サーバー) とツール群の稼動に必用なシステム要件を示しています。

	CPU	メモリ (RAM) サイズ	ディスク容量
ESB サーバー	最少:1 CPU	最少: 512 MB	最少: 750 MB
	推奨 : 2 CPU (またはデュアル コア)	推奨: 2 GB	推奨: 10 GB
ピア サーバー	最少:1 CPU	最少: 512 MB	最少: 500 MB
	推奨 :4 CPU (またはクアッド コア)	推奨: 8 GB	推奨: 10 GB
Fiorano Studio	最少:1 CPU	最少: 128 MB	最少: 500 MB
	推奨:1 CPU	推奨: 512 MB	推奨: 500 MB
その他のツール	最少:1 CPU	最少: 128 MB	最少: 500 MB
	推奨:1 CPU	推奨: 256 MB	推奨: 500 MB

ESB サーバーとピア サーバーを同ーマシン上で稼動させる場合は、次の表に示す環境が必要となります。

	CPU	メモリ (RAM) サイズ	ディスク容量
ESB サーバー +	最少:1 CPU	最少: 1 GB	最少: 1 GB
ピア サーバー	推奨 : 4 CPU (またはクアッド コア)	推奨: 8 GB	推奨: 10 GB

複数のピア サーバーを同ーマシン上で稼動させる場合、ビジネス プロセスの複雑さなやデータ サイズなど多くの要因によ って必用となる環境が異なってきます。次の表は、単一のピア サーバーに必用な稼働環境を示しています。この値に単純に ピア サーバーの数を掛ける必要はありません。オーバースペックな環境となってしまいます。ビジネス プロセスのテスト時な どに Fiorano Web Console 監視ツールを用いてメモリや CPU の負荷状況を監視し、本番稼動に必要な環境を決定する ようにしてください。

	CPU	メモリ (RAM) サイズ	ディスク容量
複数ピア サーバー	最少:1 CPU	最少: 512 MB	最少: 500 MB
	推奨 : 4 CPU (またはクアッド コア)	推奨: 8 GB	推奨: 10 GB

Fiorano SOA Version 9.0.0 には、Sun JRE (version 1.5.0_16) が同梱されています。通常のインストールではこの JRE

が使用されるよう設定されますので、ユーザー側で JRE のバージョンについて特に考慮する必要はありません。 もちろん、他の JVM をお使いいただくことも可能です (その場合、環境変数の設定が必要となります)。

ディスク容量の値は、インストールに必要な容量(約 400MB)と稼動時に必要となるディスク スペースの合計値です。ビジ ネス プロセスの稼動時には、ログやメッセージ保存など様々な目的でディスク スペースを使用します。この容量は、送受信 するメッセージの大きさや頻度、ビジネス プロセスの複雑さなど、多くのパラメータに依存します。

ビジネス プロセスのテスト実行時に本番で必要となるディスク スペースを割り出すようにしてください。また、最もディスク スペースを必用とするログ記録は、パラメータ設定によってログ ファイルのサイズや数を変更できます。

ピア サーバーの メモリ (RAM) サイズは、Fiorano プリビルト コンポーネントの実行に必用なサイズを含んでいます。

[評価目的で Fiorano SOA プラットフォームを稼動させる場合について]

評価目的で稼動させる場合、ESB サーバー、ピア サーバー、各ツールを同ーマシンで実行させることをお薦めします。 また、評価用のビジネス プロセスがさほど複雑でないとことを想定すると、すべてのサーバーやツールを単ーマシンで実行し ても、次の表に示した最小値で充分に対応できるものと思います。

	CPU	メモリ (RAM) サイズ	ディスク容量
ESB サーバー +	最少:1 CPU	最少: 1 GB	最少: 1 GB
ピア サーバー			



1.3 インストール手順

Fiorano SOA 2007 のインストールは、プラットフォームによって次の2種類の方法に分かれています。

- > Wizard によるインストール: Windows 版、Linux 版、Solaris 版
- ▶ tar ファイルの展開: Unix 版

ここでは、Wizard によるインストールについて説明します。tar.gz 形式になっている Unix 版をインストールするには、gz 形式での圧縮を解凍し、tar ファイルを展開してください。これで、所定のディレクトリに必要なファイルがインストールされま す。

Wizard によるインストール (Windows、Linux、Solaris) の場合、デフォルト設定のパラメータで行ってください。 以下に、Wizard による手順とデフォルトのパラメータ設定について説明します。基本的には、デフォルトで選択されているパ ラメータや項目を変更しなければ、OK です。

1. Wizard の起動

ダウンロードしたインストーラ (exe もしくは bin) を実行します。

Wizard は最初に、Fiorano SOA プラットフォームのインストール状況をチェックします。既存のインストールが無い場合には、 次の welcome ページが表示されます。これとは異なるページが表示される場合は、インストールしようとしている SOA プ ラットフォーム同一のバージョンが既にインストールされていることを示しています。新たに再インストールを実施したい場合に は、表示されたページにある [remove] を選択してアンインストールを行ってください。その後、再度 Wizard を起動し、イ ンストールを行います。

[Next >] ボタンをクリックしてください。





2. エンドユーザー使用許諾の同意

「エンドユーザー使用許諾」が表示されますので、

[I accept terms of the license agreement]

を選択してください。

[Print] ボタンをクリックすると、「使用許諾契約書」の全文を印刷することができます。

Fiorano SOA+2007 Platform	SP6 – InstallShield Wizard	×
License Agreement Please read the following carefully.	g license agreement	
Copyright © 1959-2008, Fiorano Boftware Technologica by Titk and Affiliates All Rights Reserved.	FIORANO END-USER LICENSE AGREEMENT THIS FIORANO END-USER LICENSE AGREEMENT (THE ♯GREEMENT · IS A LEGAL AGREEMENT BETWEEN YOU (HEREINAFTER ₩USTOMER ·, EITHER AN INDIVIDUAL OR A CORPORATE ENTITY, AND FIORANO SOFTWARE, INC., HAVING A PLACE OF BUSINESS AT 718 UNIVERSITY AVE, SUITE 212 LOS GATOS, CA 95032, USA, OR ITS AFFILIATED COMPANIES (HEREINAFTER ₩IORANO · FOR CERTAIN SOFTWARE DEVELOPED AND MARKETED BY FIORANO AS DEFINED IN GREATER DETAIL BELOW. BY OPENTING THIS PACKAGE, INSTALL+ING, COPYING, DOWNLOADING, EXTRACTING AND/OR OTHERWISE USING THE SOFTWARE, YOU ARE CONSENTING TO BE BOUND BY AND ARE BECOMING PARTY TO THIS AGREEMENT ON THE DATE OF INSTALLATION, COPYING, DOWNLOAD OR EXTRACTION OF THE SOFTWARE (THE ‡#FECTIVE DATE ·, IF YOU DO NOT AGREE WITH ANY OF THE TERMS OF THIS AGREEMENT, PLEASE STOP INSTALLING AND/OR USING THE SOFTWARE AND PROMPTLY RETURN THE UNUSED SOFTWARE TO THE PLACE OF PURCHASE. BY DEFAULT, THE SOFTWARE IS MADE AVAILABLE TO CUSTOMERS IN ONLINE, DOWNLOADABLE FORM. THE TERMS OF THIS AGREEMENT SHALL APPLY TO EACH SOFTWARE ALD FROM THE DENT BOFTWARE IS MADE AVAILABLE TO CUSTOMERS IN ONLINE, DOWNLOADABLE FORM. THE TERMS OF THIS AGREEMENT. O I accept the terms of the license agreement	1
	☺I do not accept the terms of the license agreement	
InstallShield	< Back Next > Cance	

3. 使用者と会社名の指定

任意の名前を指定することができます。

Fiorano SOA+2007 Platform	SP6 - InstallShield Wizard	×
Customer Information Please enter your informa	ition.	
Fiorano	Enter a User name and your Company name below.	
	User Name:	
	shigeru aoshima	
	Company Name:	
	Fiorano	
Copyright © 1999-2008, Florano Software Technologies Pyt I M and Affiliates All Rights Reserved.		
InstallShield	< Back Next > Cancel	



4. インストール ディレクトリ (フォルダー) の指定

デフォルトのフォルダーがあらかじめ指定されています。デフォルトのままとしておくことをお薦めします。

C: **Program Files Fiorano Fiorano C** (Windows)

/home/Fiorano/FioranoSoaXXXXXX (Unix 版、Linux 版)

XXXXXXX は、バージョン番号を示しています。

Fiorano SOA+2007 Platform SP6 – InstallShield Wizard 📃 🛛 🔁			
Choose Destination Location Select folder where setup will insta	ll files.		
Copyright © 1999-2008, Florano Boftware Ali Rights Reserved.	Install Fiorano SOA·2007 Platform SP8 to: C:¥Program Files¥Fiorano¥FioranoSOA2007SP8	<u>C</u> hange	
InstallShield	< <u>B</u> ack	(Next >) Cancel	
InstallShield	< <u>B</u> ack	Next > Cancel	

再インストールの場合、このフォルダーが存在している可能性があります。これは、アンインストール時に、ログ ファイルを削除せずに残しているためです。

ポップアップされたダイアログ ボックスで、[Over write] を指定します。ログ ファイルは削除されずに、残ります。不要で あれば、事前に削除しておいてください。

デフォルトのフォルダーとは異なる場所にインストールする場合には、[Change] ボタンをクリックします。表示されるダイア ログ ボックスでインストール先のフォルダーを指定します。

Choose Folder	×
Please select the installation folder.	
<u>P</u> ath:	
C¥Program Files¥Fiorano¥FioranoSOA2007SP6	
Directories:	
E - Common Files E - ComPlus Applications E - C CYBERFRONT E - DebugMode E - Fiorano E - Fiorano E - C Fiorano E - C Google U - C Google	
	ンセル



5. インストール タイプの選択

インストールのタイプを選択します。

最上段の [Enterprise] を選択してください。これで、すべてのコンポーネントをインストールすることができます。



6. Program フォルダーの指定

デフォルトの "Fiorano" をフォルダー名として指定してください。

Fiorano SOA+2007 Platform	SP6 - InstallShield Wizard	×
Select Program Folder Please select a program fo	older.	
Fiorano	Setup will add program icons to the Program Folder listed below. You may type a new folder name, or select one from the existing folders list. Click Next to continue.	8
	Program Folder:	
	Fiorano	
Copyright © 1999-2008, Fidrano Software Technologice Pvt 1 M and Amiliaire All Rights Reserved.	Existing Folders: A O L Apache HTTP Server 2.2.6 B.H.A BaZaaNetworks Cyberfront Fiorano Google Earth Google Earth Google Farth Google アップデータ InterVideo WinDVD KONICA MINOLTA McAfee Microsoft Office	
InstaliShield	< Back Next > Cancel	

7. インストールの開始

[Install] ボタンでインストールを開始します。

設定をやり直す場合は、[Back] ボタンで戻ってください。



8. インストールの終了

次の画面が表示されたら、インストールの完了です。[Finish] ボタンをクリックしてください。



インストールが完了しても、Fiorano SOA プアラットフォームを起動することはできません。 起動するためには、ライセンス ファイルのインストールが必要です。『1.5 ライセンス ファイルのインストール』の手順 を実施してください。

2 インストール完了後のフォルダー内容

下図は、インストール完了後の

C:¥Program Files¥Fiorano¥FioranoSOA9.0.0 (Windows 版)

の内容を示しています。

]アドレス(D) 🗁 C:¥Program Files¥Fiorano¥FioranoSOA9DD				
フォルダ	×	名前 -	サイズ	種類
🖃 🦳 Fiorano	•1	🛅 _uninstall		ファイル フォルダ
EigranoMQ900		🚞 adapters		ファイル フォルダ
E G EigrapoSOA900		🛅 antscripts		ファイル フォルダ
🔁 uninstall		🛅 bc		ファイル フォルダ
E Calanters		🚞 esb		ファイル フォルダ
		🚞 eStudio		ファイル フォルダ
		🚞 extlib		ファイル フォルダ
The share of the s		🛅 FlashDemos		ファイル フォルダ
E Cost		🛅 fmq		ファイル フォルダ
E Containe I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	-	🛅 framework		ファイル フォルダ
ElashDemos		🚞 javadoc		ファイル フォルダ
🕀 🥁 flash		ire1.5.0_16		ファイル フォルダ
🕀 🧰 fma		🛅 launcher		ファイル フォルダ
F C framework		🛅 licenses		ファイル フォルダ
🗐 🦳 iavadoc		🛅 Release_Notes_files		ファイル フォルダ
🕀 🦳 ire150 16		🛅 runtimedata		ファイル フォルダ
auncher		🛅 Studio		ファイル フォルダ
a licenses		🚞 × ml-catalog		ファイル フォルダ
🕀 🦳 Release Notes files		🐻 fiorano_varsbat	2 KB	MS-DOS バッチ ファ
🕀 🥁 runtimedata		💽 Fioranodocs.htm	4 KB	Firefox Document
🕀 🦳 Studio		i GettingStartedGuide.htm	35 KB	Firefox Document
🕂 🦳 xml-catalog		🥃 license htm	77 KB	Firefox Document
		🔁 license pdf	92 KB	Adobe Acrobat Doc
		🖳 readme.txt	4 KB	ᆉ자文書
🗉 🧰 Google		💽 Release_Notes.htm	52 KB	Firefox Document
🗂 Hidemaru		🛃 setup.exe	119 KB	アプリケーション
🗉 🫅 InstallShield Installation Informati		👅 un install bat	1 KB	MS-DOS バッチ ファ
🗉 🧰 Intel				

以下に、評価作業に際して重要と思われるフォルダーやファイルについて Windows 版を例に説明します。

1. ユーザー マニュアル

弊社の Web サイトからダウンロードしていただけます。インストール ディレクトリにある次の htm ファイルをブラウザーで 開いてください。ダウンロード先の一覧が表示されます。

C: ¥Program Files ¥Fiorano ¥Fiorano SOA9.0.0 ¥Fioranodocs.htm

日本語 Web ページ (下記の URL) からは、製品マニュアルとともに日本語ガイド ブックもダウンロードできます。

http://www.fiorano.com/jp/whitepapers/wp fsoa doc.php

2. ライセンス ファイルのインストール先フォルダー

C: ¥Program Files ¥Fiorano ¥Fiorano SOA 20079.0.0 ¥licenses

*** 詳細につきましては、『1.5 ライセンス ファイルのインストール』を参照してください。

3. 各サーバーの起動、停止用の .bat ファイル

次のフォルダーに、起動、停止用の .bat ファイル (Unix / Linux 版では、.sh ファイル) が格納されています。

C: ¥Program Files ¥Fiorano ¥Fiorano SOA9.0.0 ¥esb ¥server ¥bin

[注]: Windows 版では、[スタート] メニューからも起動できます。
 詳細は、ガイドブック『 SOA プラットフォームの起動方法 』を参照してください。

4. Fiorano Studio の exe ファイル

次のフォルダーに Studio.exe が格納されています。Fiorano Studio は、ビジネス プロセスの構築や実行、Fiorano サ ーバー群のコンフィグなどに使用するツールです。

C: ¥Program Files ¥Fiorano ¥Fiorano SOA9.0.0 ¥Studio ¥bin

Studio.exe へのショートカットが、インストール時にデスクトップに生成されています (Windows 版)。 Fiorano Studio の実行は、次の 3 種類の方法で行えます。

Windows の [スタート] メニューから実行 デスクトップのショートカットから実行 上記フォルダーの exe を実行

5. Flash ベースのデモ

Flash を利用したデモが用意されています。Web ブラウザーからデモを実行することができます。下記の index.htm をブ ラウザーで開いてください。

C: ¥Program Files ¥Fiorano ¥Fiorano SOA9.0.0 ¥FlashDemos ¥index.htm

現行バージョン (SAO 9.0.0) では、使用方法についてのデモを 3 種類用意しています。

- 1. Connecting to Enterprise Server (ESB ピアを分散させた場合のコンフィグ方法)(2分15秒)
- 2. Creating Event Process (ビジネス プロセスの生成方法) (2分11秒)
- 3. Introduction to Event Process Designer (ビジネス プロセスのデザイン方法) (3分)

現在 (2009 年 3 月) の時点では、日本語版のデモが用意されていません。悪しからずご了承くださるようお願いいたします。

ビジネス プロセス (コンポーネント フロー) の構築方法については、ガイドブック 『オーケストレーション概要_基礎編 』を 参照してください。

3 ライセンス ファイルのインストール

3.1 ライセンス ファイル (fiorano-soaX.lic) のコピー

メールに添付されて送られてきたライセンス ファイルを、下記のフォルダーにコピーします。

ライセンス ファイル名 : fiorano-soaXXX.lic (XXX は、バージョン番号) コピー先のフォルダー : C:¥Program Files¥Fiorano¥FioranoSOA9.0.0¥licenses (Windows 版) : /home/Fiorano/FioranoSOA9.0.0/licenses (Unix、Linux 版)

フォルダー名に付加されているバージョン番号に注意してください。上記は、Ver. 9.0.0の場合を示しています。



3.2 ライセンスの確認方法

ライセンス マネージャによって、ライセンスを確認することができます。

1. ライセンス マネージャの起動

Windows の [スタート] メニューからの起動

 $[\mathcal{I} \square \mathcal{I} \neg \mathcal{I}] \rightarrow [Fiorano] \rightarrow [Fiorano SOA 9.0.0] \rightarrow [Fiorano Tools] \rightarrow [Fiorano License Manager]$

 ○ Office ドキュメントを開く 3 Windows Update ○ プログラムのアクセフと歴史の設定 				🐝 Fiorano Deployment Manager 🎥 Fiorano Event Manager
 プログラム(P) 	▶ 📾 Fiorano	🕨 🧰 Fiorano SOA 2007 Platform SP2 🕨		Fiorano License Manager
最近使ったファイル(D)	▶ 🛅 Mozilla Firefox	🔸 🛅 Fiorano SOA 2007 Platform SP3 🔸	🛅 Fiorano ESB Console	▶ 🛐 Fiorano Network Administration To
🚱 設定(S)	▶ 🛅 アクセサリ	•	🛅 Fiorano Servers	History Contract Services and Security Man
	▶ 🛅 ゲーム		📷 Fiorano Tools	🕨 🗾 Fiorano Studio

スクリプト ファイルによる起動

Widows 版

 ${\tt C: \$Program Files \$ Fiorano \$ Fiorano \$ OA9.0.0 \$ framework \$ tools \$ License Manager \$ bin \$ lm.bat$

Unix / Linux 版

%INSTALL_DIR%/framework/tools/LicenseManager/bin/lm.sh

2. ライセンス マネージャでの確認

下図は、ライセンス マネージャの画面を示しています。



ライセンス マネージャを起動すると、通常、上図のように右側のペインに ESB サーバーに対するライセンス情報が表示され ます。ライセンス情報が表示されていない場合は、右上にあるコンポーネント選択のプルダウン メニューからコンポーネントを 選択してください。

評価版ライセンスには、すべてのコンポーネントに対するライセンスが含まれていますので、どのコンポーネントを選択しても 上図と同じ内容の情報が表示されます。

ライセンス情報の各項目の意味は、次の通りです。

Products: 左側のペインで選択したライセンス ファイルに含まれている製品コンポーネントの一覧。 評価版ライセンスでは、すべてのコンポーネントが含まれています。

Type : ライセンスの種類。評価版の場合は、 Eval と表示されます。

Bind to : ライセンスとマシン名の結びつきを示しています。通常のライセンスではホスト名もしくは IP アドレスが表示 されますが、評価版の場合はマシンを限定しないため anywhere と表示されます。

Issued date:ライセンスの生成日時。

Expiration: ライセンスの有効期限。評価版ライセンスの有効期限は、生成日から数えて 45 日の間です。 Signature: ライセンス キー

有効期限を確認してください。問題がある場合には、Fiorano Software 日本オフィスまでお問い合わせください。

日本オフィス: info jp@fiorano.com

3. マシン情報

ライセンス マネージャのメニューから、ライセンスがインストールされたマシンの設定情報を表示させることができます。 [License] -> [Machine info...] を選択すると、設定情報を示すウィンドウが表示されます (下図を参照)。

M/C info	×						
	8						
Parameter	Value						
Java Runtime Version	1.5.0 05-b05						
Java Runtime Name	Java(TM) 2 Runtime Environment, Standar						
Java Runtime Vendor	Sun Microsystems Inc.						
IP Address 11	0:0:0:0:0:0:1						
IP Address 01	192.168.1.104						
OS Version	5.1						
Host Name	yoda						
OS Name	Windows XP						
No. Of Processors	1						
Close							

表示される情報には、

- Fiorano SOA プラットフォームで使用する Java に関する情報 (通常は、バンドルされている Sun JRE 1.5 で設定)
- インストールしたマシンの IP アドレス (DHCP を使用している場合は、ダイナミックに変更されます)、ホスト名、OS 名、CPU 数など

があります。

4 Fiorano SOA プラットフォームのアンインストール

Fiorano SOA プラットフォームのアンインストールは、次の3種類の方法で行うことができます。

- インストーラ Wizard から
- Windows の [スタート] メニューから
- スクリプト ファイルの実行

4.1. インストーラ Wizard によるアンインストール

Fiorano SOA プラットフォームがインストールされている状態で Wizard を実行すると、次の画面が表示されます。

最下段の [Remove] を選択し、[Next >] ボタンをクリックしてください。アンインストールが実行されます。



4.2. Windows の [スタート] メニューから実行

[Uninstall Fiorano SOA 9.0.0] を選択します。

6	プログラム(<u>P</u>) ・	m	Fiorano	•) Fiorano SOA 2007 Platform SP2	۲	
٨	最近使ったファイル(D)	•	Mozilla Firefox	•	Fiorano SOA 2007 Platform SP3	۱ (📄 Fiorano ESB Console 🛛 🔹 🕨
₽	設定(S)	• 🛅	アクセサリ	۰T			🛅 Fiorano Servers 🔹 🕨
P	検索(2)	•	ゲーム	۶L			🛅 Fiorano Tools 🔹 🕨
0	ヘルプとサポート(<u>H</u>)	j. kon	Adobe Reader 8			6	🛅 Fiorano Utils 🔹 🕨
	ファイル名を指定して実行(配)	۹	Internet Explorer				🛅 FioranoSOA Docs 🔹 🕨
	aoshima のログオフ(L)	2	秀丸				🗴 Uninstall FioranoSOA 2007 Platform SP3

4.3. スクリプト ファイルの実行による方法

インスト-ル ディレクトリ (フォルダー) に格納されているスクリプトを実行します。

Widows 版

C: ¥Program Files ¥Fiorano ¥Fiorano SOA9.0.0 ¥uninstall.bat

Unix / Linux 版

%INSTALL_DIR%/uninstall.sh

アン インストールが完了しても、ログ ファイルは削除されません。

したがいまして、インストール ディレクトリの下には [FioranoSOA9.0.06] ディレクトリとサブ ディレクトリの一部が存 在したままとなります。不要な場合には、手動で削除してください。